

A 基礎

練習の答えと考え方

問1

答え むじゅん

解説 「矛」はほこ、「盾」はたて。二つの説明が両立しないことを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問2

答え すいこう

解説 「推す」と「敲く」のどちらを使うか考えた話に由来する。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問3

答え ぎょふのり

解説 漁をする人を指す「漁夫」は「ぎょふ」と読む。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問4

答え きゅう

解説 「杞」は昔の国の名、「憂」は心配すること。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

A 基礎

練習の答えと考え方

問5

答え 蛇足

解説 蛇に足を描き加えた話から、不要な付け足しを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問6

答え しゅしゅ

解説 「株」はここでは切り株のこと。偶然の幸運を待つ農夫の話に由来する。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問7

答え 五十歩百歩

解説 五十歩と百歩という距離の違いより、逃げた点で変わらないことを重視するたとえ。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問8

答え 背水の陣

解説 水を背にして退路をなくした陣から、後に退けない覚悟を表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

B 標準

練習の答えと考え方

問9

答え イ

解説 参加者が0人であることと、3人いることは同時に成り立たない。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問10

答え エ

解説 元の内容に必要なものを加える、余計な付け足しを指す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問11

答え ア

解説 心配していた問題は起こらず、取り越し苦労だったことを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問12

答え ウ

解説 文章の内容をよりよく伝えるため、表現を検討して直す行動。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

B 標準

練習の答えと考え方

問13

答え イ

解説 量に違いがあっても、問題としている本質には差がないというたとえ。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問14

答え エ

解説 争いに直接加わらない第三者が、争う二者のすきを利用して利益を得る。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問15

答え ア

解説 偶然の出来事が再び起こると決め付け、必要な仕事を放棄している点が問題。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問16

答え ウ

解説 後に退けないという強い覚悟に注目する表現。成功が保証される意味ではない。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

C 応用

練習の答えと考え方

問17

答え その矛が盾を貫けば盾の宣伝が成り立たず、盾が矛を防げば矛の宣伝が成り立たないから。

解説 二通りの結果を考えると、どちらでも一方の宣伝が否定される。

確認 矛が貫いた場合と盾が防いだ場合の両方について、もう一方の宣伝が成り立たないと説明していれば正解。

問18

答え 完成した蛇の絵に、蛇にはない足を描き加えたこと。

解説 完成に必要なものを付け足してしまった点が、現在の意味につながる。

確認 完成した蛇に、必要のない足を付け加えた行動を示せば正解。

問19

答え 違う点：逃げた距離。共通する点：戦場から逃げたこと。

解説 五十と百という数字の違いではなく、逃げたという行為の共通点を重視する話。

確認 違う点を「距離」、共通する点を「戦場から逃げたこと」と示していれば正解。

問20

答え 人物：C。理由：AとBが争うすきに、自分は争わず賞品を手に入れたから。

解説 争う二者A・Bと、利益を得る第三者Cを区別する。

確認 Cを答え、AとBの争いの間に、争いに加わらず賞品を得たことを示せば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問21

答え 伝えたい様子がより具体的に伝わるよう、言葉や表現を考え直しているから。

解説 長くしたからではなく、伝えたい内容に合う表現を選び直した点が重要。

確認 伝えたい様子をよりよく伝えるため、語句や表現を検討して直したことを示せば正解。

問22

答え 大雨になるという根拠のある心配に備えており、必要のない心配とは言い切れないから。

解説 杞憂は不要な心配を表す。予報に基づく備えを、それだけで取り越し苦労と決め付けない。

確認 予報という根拠があり必要な備えと考えられることと、杞憂は不要な心配を指すことを結び付ければ正解。

問23

答え 偶然の幸運がまた起こるとあてにして、必要な練習や仕事をしない点。

解説 勝利も兎を得たことも偶然であり、同じ結果が繰り返すとは限らない。

確認 偶然の幸運の再来を期待することと、必要な努力をしないことの両方を示せば正解。

問24

答え もうやり直す機会はないと考え、後に退かず完成へ全力を尽くす覚悟。

解説 水辺にいるという意味ではなく、退路がない状況で臨む強い決意のたとえ。

確認 最後の機会に後に退けないことと、完成に全力を尽くす決意の両方を説明できれば正解。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問25〔10点〕

答え しめんそか

解説 周囲が反対者ばかりで、孤立し助けがないことを表す。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

問26〔10点〕

答え 登竜門

解説 活躍への道を開く、難しい関門のたとえ。「登龍門」と書くこともあるが、本問では常用漢字の「竜」を用いる。

採点 本問では、指定された常用漢字による「登竜門」を正答とする。10点。部分点なし。

問27〔10点〕

答え イ

解説 よい出来事が不幸につながったり、悪い出来事が幸いにつながったりするため、先は簡単に判断できない。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問28〔10点〕

答え 助長

解説 この文では、不安という好ましくない傾向を、いっそう強める意味。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

問29〔15点〕

答え 全員が二年生なら三年生はいないはずなので、三年生が二人いるという説明とは同時に成り立たないから。

解説 「全員が二年生」という説明と「三年生がいる」という説明を、同じ時刻・場所の条件で比べる。

採点 全員が二年生なら三年生はいないことに5点、三年生が二人いるというもう一方の説明に触れて5点、そのため二つが同時には成り立たないと結び付けて5点。語順や言い換えは問わない。

問30〔15点〕

答え 記号：イ。理由：指しているものが読み手に伝わるよう、使う言葉を考え直しているから。

解説 文字の大きさだけでなく、伝えたい内容に合う語句や表現を検討しているかで判断する。

採点 記号イに5点、指すものを分かりやすくする目的に5点、具体的な言葉へ表現を直す行動に5点。理由の二つの要素は言い換え可。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問31〔15点〕

答え 二つの店が競争で共に損をした結果、第三者である近くの店が、自分は競争せずに客を増やす利益を得たから。

解説 争う二者は値下げ競争をした二店、利益を得た第三者は近くの店である。争いと利益との因果関係を示す。

採点 二つの店が競争で共に損をしたことに5点、近くの店は競争に加わらない第三者であることに5点、その結果として客が増える利益を得たことに5点。

問32〔15点〕

答え 利用者が増えて今の方法では数え間違いが続いているのに、昔からのやり方にこだわり、状況に合わせて変えようとしないから。

解説 以前の方法にとらわれ、状況が変わっても適切な方法へ改められない点を捉える。

採点 利用者の増加や数え間違いから見直しが必要な状況を示して5点、昔のやり方へのこだわりに5点、状況に応じて方法を変えないことに5点。